

集乳業務 担当者向け作業手順 Manual



受け渡し

酪農家を回って集めた生乳を
乳業工場やクーラーステーションに輸送する。
衛生的に運搬してきた生乳が、
牛乳や乳製品になる出発点でもある。

受け渡し

1. タイヤ廻りの泥汚れを落として工場やCS
に入る。洗浄用水槽がある場合は、水槽を
静かに通過する。

2. 所定の位置に駐車する。

3. 便名、コース名を受乳係へ通知する。

4. 乳量を確認する。
・乳量をトラックスケールや流量計などを
使って計測する場合は、受け入れ先の手
順に従う。

5. 受け入れ検査…ローリー乳は受け入れ先
が検査を行う。

6. 受け渡しの準備をする。
・車止めを行なう。
・作業する際は、ヘルメットの着用を忘れ
ない。
・マンホールを防虫ネットで覆う。



7. 搬入する。
・搬入を待つ時間…採取した検査用試料（追跡検査用）の引き渡しを行う（日にち、便名、バルククーラー名を記入して24時間または48時間保管し、受入場所の指示に従う）。



8. トラックスケールにて空車を計量、伝票を受取る。

9. 受け渡しの終了。



終業報告

1日の集乳業務が終了したら、事業所に戻り、結果報告と終業点検を行う。

結果報告

運行管理者に集乳、受け渡し、洗浄殺菌の結果報告を行う。

結果報告事項

- ①乳量。
- ②異常の有無。
- ③問題点。
- ④その他(伝達事項の連絡など)。



整理と終業点検

- (1) 整理
タンクローリーの点検・整理を行う。
- (2) 作業日報
点検結果など、所定の事項を作業日報に記録する。
- (3) 翌日の準備
検査器具の点検補充、試料瓶の生産者番号記入など、翌日の集乳業務に備える(検査用アルコールは当日準備する)。

